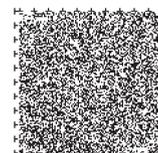


# 西東京市の障害者福祉に関する調査報告書

【概要版】

令和5年3月  
西東京市



## 1. 調査の目的

令和5年度に『第6期西東京市障害福祉計画・第2期西東京市障害児福祉計画』を見直し、令和6年度以降の次期西東京市障害者基本計画及び令和6～8年度を計画期間とする第7期西東京市障害福祉計画・第3期西東京市障害児福祉計画の策定に向けて、市内に在住する障害者及び障害児などの生活状況、福祉サービスの利用状況及び今後の意向を把握し、次期計画に必要となる障害福祉・障害児福祉施策の現状把握のための基礎資料を作成することを目的として実施しました。

## 2. 調査対象および方法、回収状況

### ① 市民向け調査

対象地域：西東京市在住の市民

抽出方法：調査対象に該当する母集団から無作為抽出

調査期間：令和4年10月14日（金）～令和4年10月31日（月）

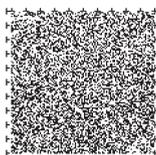
調査方法：郵送配布、郵送回収

※発達障害者の方には関係機関に来所した際、調査協力に賛同した方のみ配布し、郵送回収。

※特別支援教育利用者調査は各学校から調査票を配布し、郵送回収。

対象種別による対象者、発送数は以下の表の通り。

番号	対象種別	対象者	発送数	回収数	回収率
01	身体障害者調査	身体障害者手帳所持者	1,096人	475件	43.3%
02	知的障害者調査	愛の手帳（療育手帳）所持者	224人	103件	46.0%
03	精神障害者調査	精神障害者保健福祉手帳所持者	481人	180件	37.4%
04	自立支援医療費制度受給者調査	自立支援医療（精神通院）を受けている方	100人	27件	27.0%
05	難病患者調査	難病医療費等助成対象疾病を患っている方	200人	97件	48.5%
06	発達障害者調査	発達障害と診断されたことがある方	50人	2件	4.0%
07	児童調査	障害者手帳を持っている、自立支援医療（精神通院）を受けている、難病医療費等の助成対象となっている児童・児童の保護者	303人	122件	40.3%
08	特別支援教育利用者調査	障害の有無にかかわらず特別支援教育を受けている児童の保護者	535人	29件	5.4%
合計			2,989人	1,035件	34.6%



## ② 事業所向け調査

対象地域：西東京市から施設入所支援の決定を受けた方が入所している市内外の障害者施設

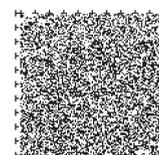
抽出方法：調査対象に該当する母集団から無作為抽出

調査期間：令和4年10月14日（金）～令和4年10月31日（月）

調査方法：郵送配布、郵送回収

対象種別による対象者、発送数は以下の表の通り。

番号	対象種別	対象者	発送数	回収数	回収率
09	施設入所者調査	西東京市から支援決定を受けた 方が入所している障害者施設	50件	24件	48.0%
合計			50件	24件	48.0%



### 3. 調査結果のまとめ

#### 利用者・介助者の高齢化の状況

障害のある方の年齢は、全体では「70 歳以上」が半数近く（41.5%）となっています。主な介助者の年齢が「60 歳以上」となっている人は 49.9%となっており、介助者の半数近くが高齢の方となっています。

18 歳未満の障害のあるお子さんの主な介助者についても、「40 歳から 59 歳」が 78.6%と大部分を占めており、お子さんが 40 歳代となる今後 20 年以上の間に、現在の主な介助者の大半が 60 歳を超えることとなります。

#### 相談の状況

障害のある方では、悩みや将来における親族や親戚との相談について、「頻繁に相談している」「必要に応じて相談している」の合計が 45.5%となっています。また、親族以外の相談先として、「友人や知人」が 23.2%、「病院や診療所」が 17.6%と高くなっている一方で、「相談できる人や場所は特にない」は 26.6%となっています。

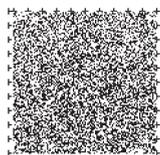
18 歳未満の障害のあるお子さんでは、お子さんの成長や将来における親族や親戚との相談について、「頻繁に相談している」「必要に応じて相談している」の合計が 60.6%となっています。また、親族以外の相談先として、「病院や診療所」が 41.0%、「職場や学校」が 37.7%と高くなっている一方で、「特にない」は 13.1%となっています。

#### 生活支援の状況

障害のある方では、過去 1 年間の福祉サービス利用者は 33.1%となっており、「訪問系サービス」が 12.2%、「相談支援」が 8.4%と高くなっています。福祉サービスの利用充足状況は、「利用できている」「まあまあ利用できている」の合計が 60.4%となっています。また、施設入所者について、地域生活へ移行するにあたっての課題として、「利用者家族の高齢化」が 75.0%と最も高く、次いで「利用者本人のニーズ把握」が 62.5%、「移行後の住まいの確保」が 54.2%となっています。

18 歳未満の障害のあるお子さんでは、過去 1 年間の福祉サービス利用者は 65.6%となっており、「放課後等デイサービス」が 45.1%、「児童発達支援」が 27.9%と高くなっています。福祉サービスの利用充足状況は、「利用できている」「まあまあ利用できている」の合計が 64.6%となっています。

特別支援教育を利用しているお子さんでは、過去 1 年間の福祉サービス利用者は 41.4%となっており、「放課後等デイサービス」が 34.5%、「児童発達支援」が 17.2%と高くなっています。福祉サービスの利用充足状況は、「利用できている」「まあまあ利用できている」の合計が 57.2%となっています。



## 子どもの学校生活や教育の状況

18歳未満の障害のあるお子さんでは、学校生活で困っていることとして、「通うための付き添いの負担が大きい」が28.7%と最も高く、次いで「学力がついていけない」が15.6%、「先生や職員の理解や配慮が足りない」が13.1%となっています。

特別支援教育を利用しているお子さんでは、学校生活で困っていることとして、「まわりの児童・生徒とコミュニケーションがうまくできない」「授業の内容がわからない、授業についていけない」が20.7%と最も高くなっています。また、学校教育への要望として、「子ども一人ひとりにあった教え方や指導をしてほしい」が62.1%、「子どものことに関する相談にのってほしい」が34.5%と高くなっています。

## 雇用・就業の状況

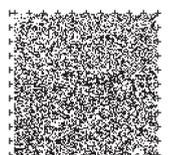
障害のある方のうち、収入を伴う仕事をしている人は、全体では「仕事をしている」が29.4%、「仕事をしていない」が61.0%となっています。今後の就労意向としては、「フルタイムで働きたい」が14.6%、「1日2～6時間程度働きたい」が13.0%、「通所先などで働きたい」が4.1%となっています。一方で、「働くことは考えていない」は43.7%となっています。

## 趣味や楽しいこと、居心地のいい場所の状況

障害のある方の趣味や楽しみについては、「趣味や楽しみがある」は66.4%となっています。また、自宅以外に居心地のいい場所について、「ある」は16.2%となっています。

18歳未満の障害のあるお子さんの趣味や楽しみについては、「趣味や楽しみがある」は84.4%となっています。また、自宅以外に居心地のいい場所について、「ある」は36.1%となっています。

特別支援教育を利用しているお子さんの自宅以外に居心地のいい場所について、「ある」は57.1%となっています。



## 差別・偏見、成年後見制度の状況

障害を理由にした差別・偏見について、障害のある方では、「ほとんど感じることはない」が 54.6% と半数以上となっており、「たまに感じる」は 26.2% となっています。一方で、18 歳未満の障害のあるお子さんでは、「ほとんど感じることはない」は 36.9% となっており、障害のある方に比べて低くなっています。一方で「たまに感じる」は 41.8% となっており、障害のあるお子さんは障害のある方に比べて障害や偏見を感じるが多くなっています。また、差別や偏見を受けた場所は、障害のある方・障害のあるお子さんともに「バスや電車などの交通機関」「スーパーやレストラン」が高く、また、障害のあるお子さんでは「保育所や幼稚園、学校」も高くなっています。

成年後見制度の認知について、障害のある方では、「知っている」が 54.3% と半数以上となっています。また、成年後見制度を利用する理由としては、「預貯金などの管理・解約」が 34.4%、「相続手続き」が 25.6% と高くなっています。

## 生活環境の状況

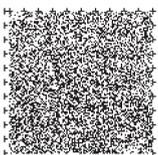
災害時の不安なこととして、障害のある方・18 歳未満の障害のあるお子さんともに「障害の特性上、避難所にいることが困難」や「避難所での他人とのコミュニケーション」が高くなっています。

障害のある方の 5 年後の暮らしのイメージとして、「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」が 37.1% と高くなっている一方で、「グループホーム」は 5.4%、「施設に入所」は 4.1% となっています。

西東京市の住みやすさについて、「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が、18 歳未満の障害のあるお子さんでは 54.1%、特別支援教育を利用しているお子さんでは 58.6% となっており、半数以上が「住みやすい」となっています。

## 医療的ケアの状況

「訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答したのは、障害のある方では 12.7%、18 歳未満の障害のあるお子さんでは 7.4% となっています。また、自宅で行っている医療的ケアとして、障害のある方では「リハビリテーション」が 33.0%、障害のあるお子さんでは「吸引器使用」が 55.6%、「リハビリテーション」「経管栄養」「気管切開」「人工呼吸器装着」が 44.4% となっています。



## 情報取得やコミュニケーションの状況

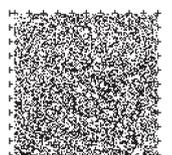
福祉サービスに関する情報の入手先として、障害のある方・18歳未満の障害のあるお子さんともに「市の広報誌」や「障害者のしおり」が高くなっています。その他、障害のある方では「テレビ・ラジオ・新聞のニュース」、障害のあるお子さんでは「職場や学校」「友人や知人」が高くなっています。

普段の生活での情報取得やコミュニケーションで困っていることとして、障害のある方では「周囲との意思疎通がとりづらい」が16.4%と最も高く、次いで「困っていることを周りに伝えられない」が16.3%、「緊急時や災害時の情報が入りにくい」が13.5%となっています。

## 施策の満足度、充実させるべき施策

西東京市における障害福祉策の満足度について、「満足している」「やや満足」は障害のある方で24.0%となっており、18歳未満の障害のあるお子さんでは18.9%、特別支援教育を利用しているお子さんでは17.2%となっています。また、「やや不満」「不満」は、障害のある方では13.3%、障害のあるお子さんでは36.9%、特別支援教育を利用しているお子さんでは20.7%となっており、障害のある方に比べて障害のあるお子さんでは満足度が低くなっています。

今後、西東京市で充実させるべき優先度の高い施策として、障害のある方・18歳未満の障害のあるお子さんともに「優先度が高い」が高かったのは、「家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること」や「障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること」となっています。その他、障害のある方では「障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること」、障害のあるお子さんでは「障害のある方が働くための機会を創出すること」が高くなっています。



## 4. 調査の結果 ～対象者の属性について～

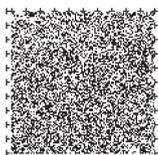
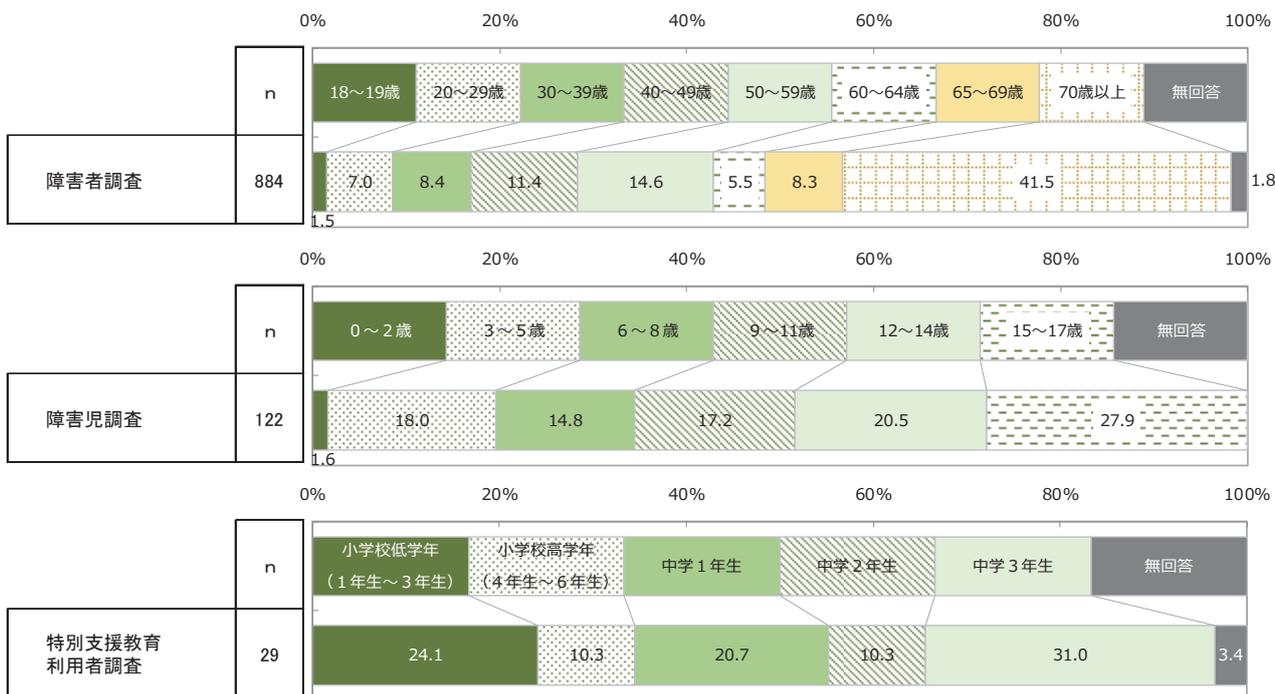
### ① 対象者の年齢及び学年

問 あなたの年齢をお答えください。【令和4年10月1日現在】 (○は1つだけ)

障害者調査では、「70歳以上」が41.5%と最も高く、次いで「50～59歳」が14.6%、「40～49歳」が11.4%となっている。

障害児調査では、「15～17歳」が27.9%と最も高く、次いで「12～14歳」が20.5%、「3～5歳」が18.0%となっている。

特別支援教育利用者調査では、「中学3年生」が31.0%と最も高く、次いで「小学校低学年」が24.1%、「中学1年生」が20.7%となっている。



## ② 同居している人

問 あなた（お子さん）はどなたと一緒に暮らしていますか。（〇はいくつでも）

障害者調査では、「配偶者」が41.4%と最も高く、次いで「子ども」が22.2%、「ひとり暮らしをしている」が21.2%となっている。

障害児調査では、「お母さん」が99.2%と最も多く、次いで「お父さん」が91.0%、「兄弟・姉妹」が62.3%となっている。

特別支援教育利用者調査では、「お母さん」が93.1%と最も高く、次いで「お父さん」が86.2%、「兄弟・姉妹」が48.3%となっている。

	調査数	ひとり暮らしをしている	妻（パートナー） 配偶者（夫、パートナー）	子ども	子どものパートナー 子どもの配偶者・	父親	母親	祖父母	兄弟・姉妹	親戚	入所施設の職員や 仲間	その他	無回答
障害者調査	884	21.2	41.4	22.2	2.8	13.9	20.8	1.4	9.8	0.2	2.8	2.6	2.3

	調査数	お父さん	お母さん	おじいさん	おばあさん	兄弟・姉妹	親戚	仲間	入所施設の職員や	その他	無回答
障害児調査	122	91.0	99.2	4.1	5.7	62.3	0.8	0.0	0.0	0.0	
特別支援教育利用者調査	29	86.2	93.1	0.0	3.4	48.3	0.0	3.4	0.0	3.4	

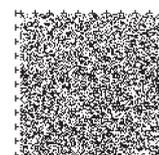
## ③ 介助・支援者の年齢

問 主な介助者の方の年齢をお答えください。

※年齢がわからない場合は「7. わからない」に〇をしてください。（〇は1つだけ）

障害者調査では、「40～59歳」が30.5%と最も高く、次いで「70歳代」が18.6%、「60歳代」が17.0%となっている。また、「17歳以下」は0.3%となっている。

障害児調査では、「40～59歳」が78.6%と最も高く、次いで「18～39歳」が17.3%となっている。



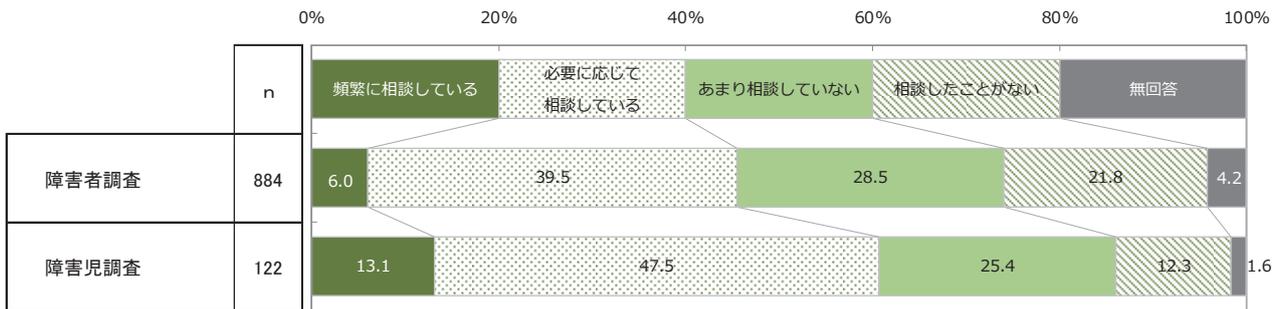
## 5. 調査の結果 ～相談支援、生活支援、教育について～

### ① 悩みや将来についての相談

問 障害者調査 あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。  
 問 障害児調査 お子さんの成長や将来について、親族や親戚と相談していますか。  
 (〇は1つだけ)

障害者調査では、「必要に応じて相談している」が39.5%と最も高く、次いで「あまり相談していない」が28.5%、「相談したことがない」が21.8%となっている。

障害児調査では、「必要に応じて相談している」が47.5%と最も高く、次いで「あまり相談していない」が25.4%、「頻繁に相談している」が13.1%となっている。



### ② 親族以外の相談先

問 障害者調査 親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。  
 問 障害児調査・特別支援教育利用者調査 親族や親戚以外にお子さんの悩みを相談している人や場所をお答えください。  
 (〇はいくつでも)

障害者調査では、「友人や知人」が23.2%と最も高く、次いで「病院や診療所」が17.6%となっている。一方で、「相談できる人や場所は特にいない」が26.6%となっている。

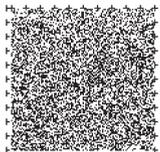
障害児調査では、「病院や診療所」が41.0%と最も高く、次いで「職場や学校」が37.7%となっている。一方で、「特にいない」が13.1%となっている。

特別支援教育利用者調査では、「学校の先生」が62.1%と最も高く、次いで「病院・診療所」が44.8%となっている。一方で、「相談できる場所は特にない」が6.9%となっている。

調査数	市役所の相談窓口	市の相談窓口	市役所以外の障害福祉所・施設の職員	障害福祉サービスの職員	介護保険サービス事業所の職員	職場や学校	病院や診療所	児童相談所	幼稚園や保育所の先生	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	障害者団体	友人や知人	その他	相談できる人や場所は特にいない	無回答
障害者調査	884	7.1	3.6	13.9	8.6	6.4	17.6	1.5	0.2	0.6	1.4	1.4	23.2	7.4	26.6	12.9
障害児調査	122	7.4	4.9	31.1	37.7	41.0	1.6	11.5	0.8	0.8	3.3	33.6	7.4	13.1	3.3	

調査数	学校の先生	スクールカウンセラー	西東京市子ども相談室ほっとルーム	教育相談	児童発達支援センター	子ども家庭支援センター	子どもの福祉相談窓口	基幹相談支援センター	病院・診療所	児童相談所	保健センター(保健師など)	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	家族会や障害者団体	友人や知人	その他	相談できる場所は特にない	相談できる場所は特にない	誰かに相談すること	無回答
特別支援教育利用者調査	29	62.1	6.9	3.4	10.3	10.3	6.9	3.4	0.0	44.8	3.4	0.0	0.0	3.4	31.0	10.3	6.9	3.4	3.4	



### ③ 福祉サービスの利用状況

問 あなた（お子さん）は、次の障害福祉サービスを過去1年間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。（○は1つだけ）

障害者調査では、「訪問系サービス」が12.2%と最も高く、次いで「相談支援」が8.4%となっている。一方で、「利用したことがない」が56.6%となっている。

障害児調査では、「放課後等デイサービス」が45.1%と最も高く、次いで「児童発達支援」が27.9%となっている。一方で、「利用したことがない」が30.3%となっている。

特別支援教育利用者調査では、「放課後等デイサービス」が34.5%と最も高く、次いで「児童発達支援センター ひいらぎ」が17.2%となっている。一方で、「利用したことがない」が51.7%となっている。

調査数	訪問系サービス	生活介護	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型・B型）	就労定着支援	療養介護	短期入所（ショートステイ）	共同生活援助（グループホーム）	施設入所支援	自立生活援助	相談支援	利用したことがない	無回答	
障害者調査	884	12.2	6.0	5.1	3.2	7.4	2.0	1.9	4.0	4.2	1.2	1.9	8.4	56.6	10.3 (%)

調査数	訪問系サービス（ショートステイ）	短期入所	相談支援	児童発達支援	児童発達支援センター・ひいらぎ	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	ホームヘルプサービス	移動支援（ヘルパーの派遣）	生活に関する支援（日常生活の確保）	生活サポート（日常生活の確保）	日中一時支援（介助者不在時の活動）	利用したことがない	無回答
障害児調査	122	8.2	9.8	23.0	27.9	45.1	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.3	4.1 (%)
特別支援教育利用者調査	122	0.0	0.0	0.0	17.2	34.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.7	6.9 (%)

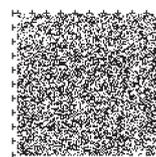
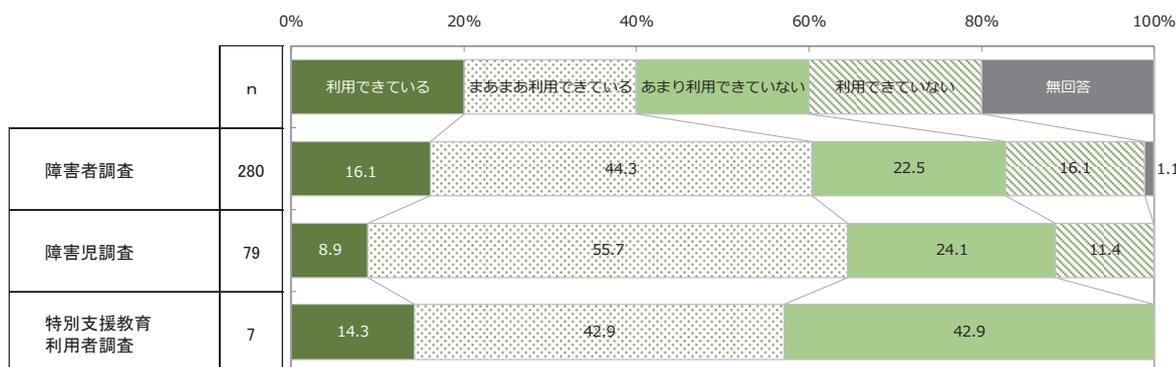
### ④ 福祉サービスを十分利用できているか

問 あなた（お子さん）は、生活に必要な障害福祉サービスを十分に利用できていますか。（○はいくつでも）

障害者調査では、「まあまあ利用できている」が44.3%と最も高く、次いで「あまり利用できていない」が22.5%、「利用できている」が16.1%となっている。

障害児調査では、「まあまあ利用できている」が55.7%と最も高く、次いで「あまり利用できていない」が24.1%、「利用できていない」が11.4%となっている。

特別支援教育利用者調査では、「まあまあ利用できている」「あまり利用できていない」が42.9%と最も高く、次いで「利用できている」が14.3%となっている。



⑤ 地域生活への移行を考えている西東京市の入所者

問 貴事業所の利用者で、西東京市が援護の実施者となっている方のうち、地域生活への移行を希望している方はいますか。いる場合はその人数もお答えください。(〇は1つだけ)

全体でみると、「いる」は12.5%となっており、平均人数は1.0人(総数3人)となっている。事業所の所在地別でみると、『東京都内』では「いる」が0.0%である一方で、『東京都外』では18.8%(3人)となっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』事業所では「いる」が18.2%(2人)となっており、『実績がない』事業所では7.7%(1人)となっている。

【意向の有無】

		調査数	いる	いない	
全体【施設入所者調査】		24	12.5	87.5	(%)
所在地	東京都内	8	0.0	100.0	
	東京都外	16	18.8	81.3	
地域移行実績	ある	11	18.2	81.8	
	ない	13	7.7	92.3	

【意向者数】

		調査数	1人	
全体【施設入所者調査】		3	100.0	(%)
所在地	東京都内	0	0.0	
	東京都外	3	100.0	
地域移行実績	ある	2	100.0	
	ない	1	100.0	

⑥ 地域生活への移行の課題

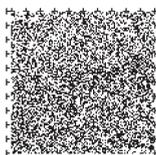
問 入所者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについてお答えください。(〇はいくつでも)

全体でみると、「利用者家族の高齢化」が75.0%と最も高く、次いで「利用者本人のニーズ把握」が62.5%、「移行後の住まいの確保」が54.2%、「地域における障害への理解促進」が41.7%となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』では「利用者家族の高齢化」「移行後の住まいの確保」「利用者本人のニーズ把握」が高く、特に『東京都内』の「移行後の住まいの確保」は87.5%と、『東京都外』の37.5%と比べて高くなっている。一方で、『東京都内』では「医療機関との連携」が12.5%となっており、『東京都外』の50.0%に比べて低くなっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』事業所では「利用者家族の高齢化」が90.9%となっており、『実績がない』事業所の61.5%に比べて高くなっている。

		調査数	利用者本人のニーズ把握	重症心身障害者の増加	利用者家族の高齢化	地域移行支援の認知度	移行後の利用者の収入確保	移行後の住まいの確保	福祉サービス事業者への引継ぎ	医療機関との連携	相談支援機関との連携	移行先の地方自治体との連携	地域における障害への理解促進	その他
全体【施設入所者調査】		24	62.5	20.8	75.0	25.0	33.3	54.2	16.7	37.5	12.5	20.8	41.7	16.7
所在地	東京都内	8	75.0	25.0	87.5	37.5	50.0	87.5	25.0	12.5	12.5	12.5	37.5	12.5
	東京都外	16	56.3	18.8	68.8	18.8	25.0	37.5	12.5	50.0	12.5	25.0	43.8	18.8
地域移行実績	ある	11	72.7	27.3	90.9	27.3	36.4	54.5	9.1	27.3	9.1	18.2	27.3	9.1
	ない	13	53.8	15.4	61.5	23.1	30.8	53.8	23.1	46.2	15.4	23.1	53.8	23.1



⑦ 学校生活で困っていること

問 学校生活の中で、お子さんが困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

障害児調査では、「通うための付き添いの負担が大きい」が28.7%と最も高く、次いで「学力がついていけない」が15.6%、「先生や職員の理解や配慮が足りない」が13.1%となっている。一方で、「特に困っていることはない」は41.8%となっている。

特別支援教育利用者調査では、「まわりの児童・生徒とコミュニケーションがうまくできない」「授業の内容がわからない、授業についていけない」が20.7%と最も高くなっている。一方で、「特に困っていることはない」は37.9%となっている。

調査数	通うための付き添いの負担が大きい	トイレなどのバリアフリー設備が不十分	仲間外れにされる	障害を理由にイジメや	慮が足りない	先生や職員の理解や配慮が足りない	解が得られない	周囲の児童・生徒の理解が得られない	体力がついていけない	学力がついていけない	居場所がない	体調が悪くなったとき	介助体制が十分でない	医療的なケアが受けられない	その他	特に困っていることはない	無回答
障害児調査	122	28.7	3.3	4.9	13.1	4.1	7.4	15.6	3.3	7.4	2.5	11.5	41.8	4.1	(%)		

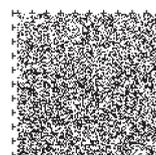
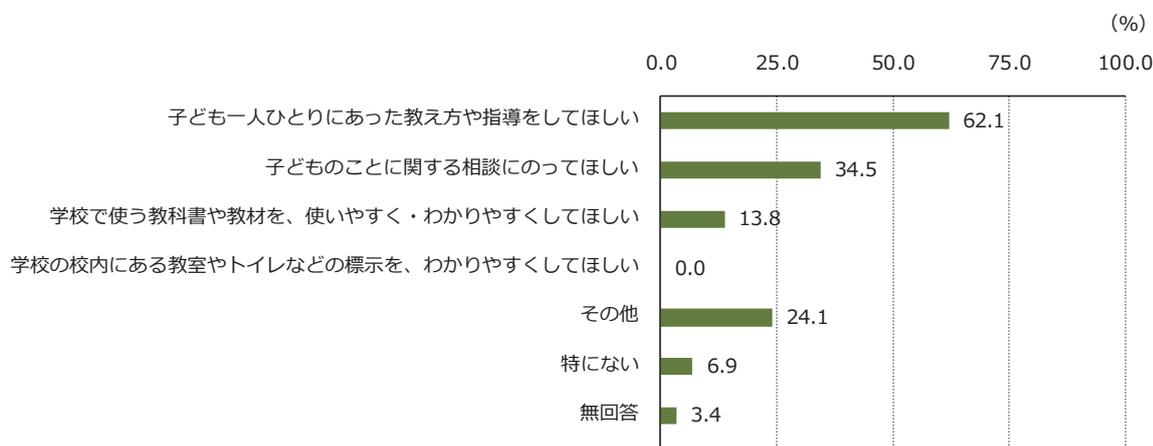
調査数	授業の内容がわからない、授業についていけない	特別支援教室（L教室・S教室、通級指導学級まで通うことが大変	友達ができない	まわりの児童・生徒とコミュニケーションがうまくできない	理解が得られない	先生や学校職員の理解や配慮が足りない	学校での支援体制が十分でない	分でない	授業の内容がわからない、授業についていけない	特別支援教室（L教室・S教室、通級指導学級まで通うことが大変	その他	特に困っていることはない	無回答	
特別支援教育利用者調査	29	3.4	20.7	6.9	13.8	6.9	20.7	6.9	13.8	13.8	3.4	37.9	6.9	(%)

⑧ 学校教育への要望

問 ご家族（お世話などをしている方）として、学校教育にどのようなことを望んでいますか。(〇はいくつでも)

特別支援教育利用者調査では、「子ども一人ひとりにあった教え方や指導をしてほしい」が62.1%と最も高く、次いで「子どものことに関する相談にのってほしい」が34.5%、「学校で使う教科書や教材を、使いやすく・わかりやすくしてほしい」が13.8%となっている。

【特別支援教育利用者調査 (n=29)】

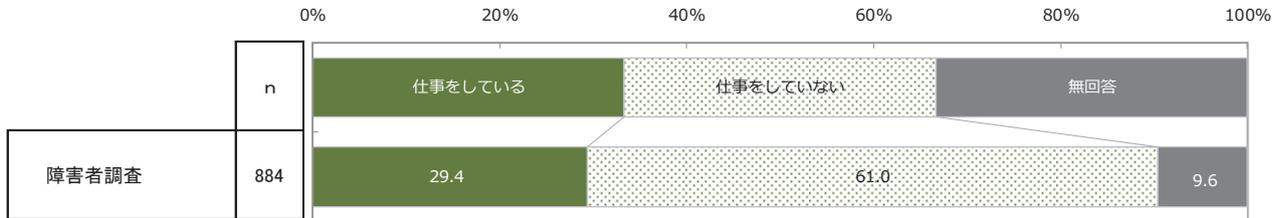


## 6. 調査の結果 ～雇用・就業、余暇活動について～

### ① 収入を伴う仕事の実施状況

問 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。 (〇は1つだけ)

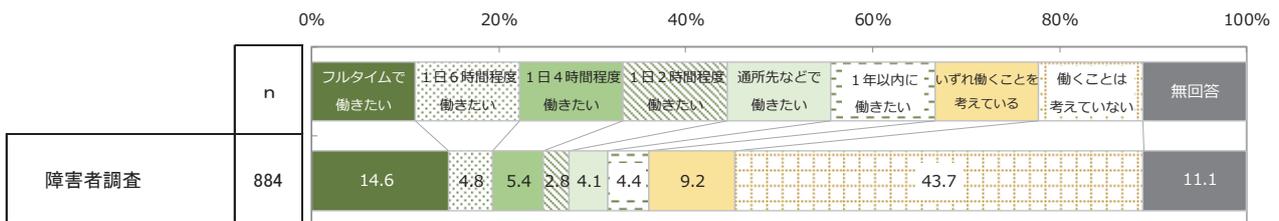
障害者調査では、「仕事をしている」が 29.4%となっている。一方で、「仕事をしていない」が 61.0%となっている。



### ② 今後の就労意向

問 今後の就労意向についてお答えください。 (〇は1つだけ)

障害者調査では、「働くことは考えていない」が 43.7%と最も高く、次いで「すぐに(継続して)フルタイムで働きたい」が 14.6%、「いずれ働くことを考えている」が 9.2%となっている。



### ③ 趣味や楽しいことの有無

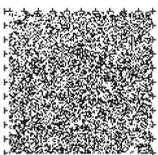
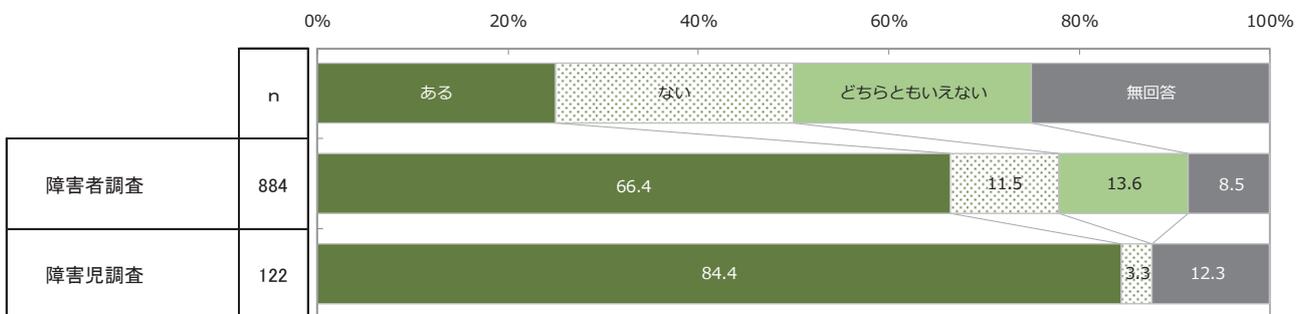
問 障害者調査 あなたには、趣味や楽しみがありますか。

問 障害児調査 お子さんは普段の生活の中で楽しいことはありますか。

(〇は1つだけ)

障害者調査では、「ある」が 66.4%となっている。一方で、「ない」が 11.5%となっている。

障害児調査では、「ある」が 84.4%となっている。一方で、「ない」は 3.3%となっている。



④ 自宅以外に居心地のいい場所

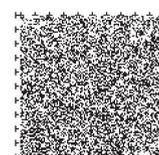
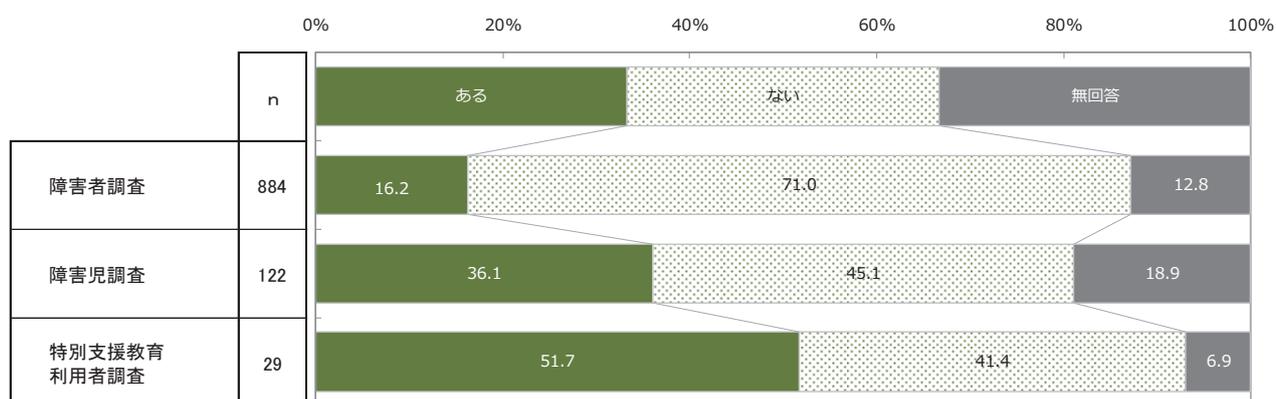
問 あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

(○は1つだけ)

障害者調査では、「ある」が16.2%となっている。一方で、「ない」は71.0%となっている。

障害児調査では、「ある」が36.1%となっている。一方で、「ない」は45.1%となっている。

特別支援教育利用者調査では、「ある」が51.7%となっている。一方で、「ない」は41.4%となっている。



## 7. 調査の結果 ～啓発、生活環境、保健・医療、情報について～

### ① 差別・偏見を感じたことがあるか

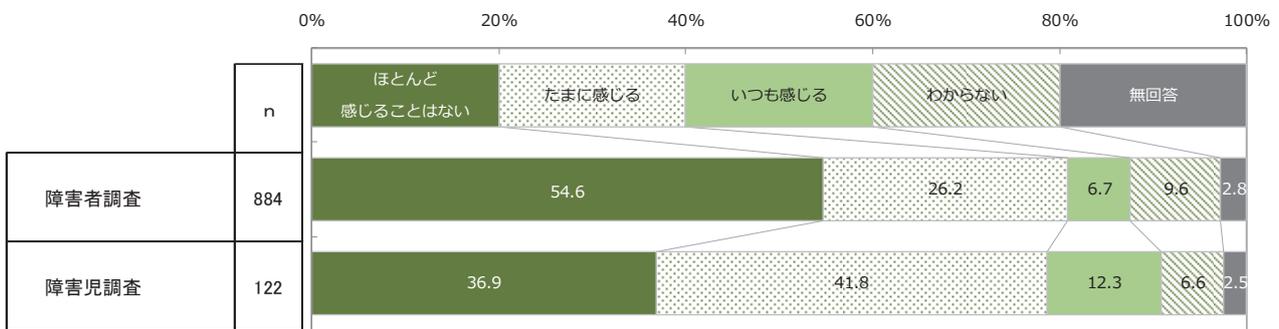
問 障害者調査 あなたはこの1年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

問 障害児調査 この1年間にお子さんの発達や障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

(○は1つだけ)

障害者調査では、「ほとんど感じることはない」が54.6%と最も高く、次いで「たまに感じる」が26.2%、「わからない」が9.6%となっている。

障害児調査では、「たまに感じる」が41.8%と最も高く、次いで「ほとんど感じることはない」が36.9%、「いつも感じる」が12.3%となっている。



### ② 差別・偏見を受けた場所

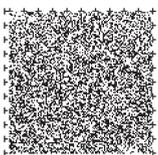
問 この1年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

(○はいくつでも)

障害者調査では、「バスや電車などの交通機関」が41.9%と最も高く、次いで「スーパーやレストラン」が23.4%、「病院などの医療機関」が17.9%となっている。

障害児調査では、「バスや電車などの交通機関」が56.1%と最も高く、次いで「スーパーやレストラン」が51.5%、「保育所や幼稚園、学校」が31.8%となっている。

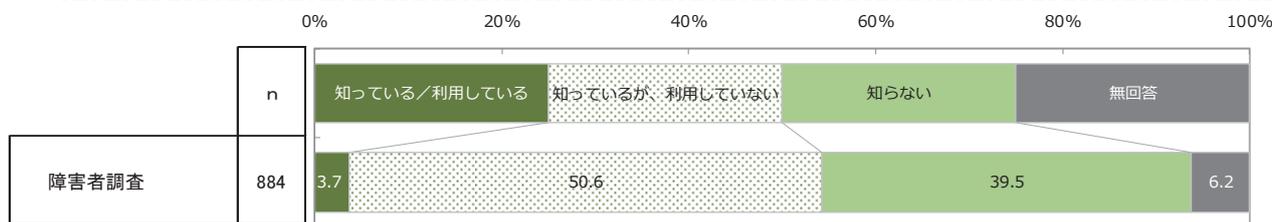
調査数	保育所や幼稚園、学校	学校や職場	市役所などの公的機関	病院などの医療機関	障害者福祉サービス事業所・施設	介護保険サービス事業所・施設	スーパーやレストラン	バスや電車などの交通機関	面接などの就職活動の場	余暇活動の場	習い事	その他	無回答
障害者調査	291	17.5	10.7	17.9	7.6	1.4	23.4	41.9	6.9	14.1		16.8	6.9 (%)
障害児調査	66	31.8	19.7	15.2	7.6		51.5	56.1			12.1	22.7	0.0



### ③ 成年後見制度の認知

問 あなたは、成年後見制度を知っていますか。 (○は1つだけ)

障害者調査では、「知っている／利用している」が3.7%、「知っているが、利用していない」が50.6%となっている。一方で、「知らない」が39.5%となっている。

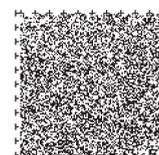


### ④ 成年後見制度を利用する理由

問 どのようなことが理由で成年後見制度を利用していますか、もしくは将来的に利用することになるとおもいますか。 (○はいくつでも)

障害者調査では、「預貯金などの管理・解約」が34.4%と最も高く、次いで「相続手続き」が25.6%、「福祉サービスの契約（ホームヘルパーや施設利用等のため）」が23.5%となっている。一方で、「将来的にも利用することはない」が31.3%となっている。

調査数	預貯金などの管理・解約	福祉サービスの契約（ホームヘルパーや施設利用等のため）	不動産の処分	相続手続き	保険金受取	訴訟手続き	親等の主たる介護者が高齢等のため支援が難しくなった	その他	将来的にも利用することはない	無回答	
障害者調査	480	34.4	23.5	17.5	25.6	14.8	3.1	13.5	7.3	31.3	11.3 (%)



⑤ 災害で不安なこと

問 地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。（○はいくつでも）

障害者調査では、「避難所の場所がわからない」が24.9%と最も高く、次いで「避難所での他人とのコミュニケーション」が24.3%、「障害の特性上、避難所にいることが困難」が22.9%となっている。

障害児調査では、「障害の特性上、避難所にいることが困難」が51.6%と最も高く、次いで「避難所での他人とのコミュニケーション」が50.8%、「避難時に介助してくれる人がいない」が21.3%となっている。

特別支援教育利用者調査では、「避難所での他人とのコミュニケーション」が37.9%と最も高く、次いで「障害の特性上、避難所にいることが困難」「避難時に介助してくれる人がいない」が17.2%となっている。

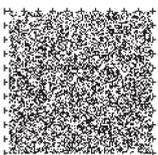
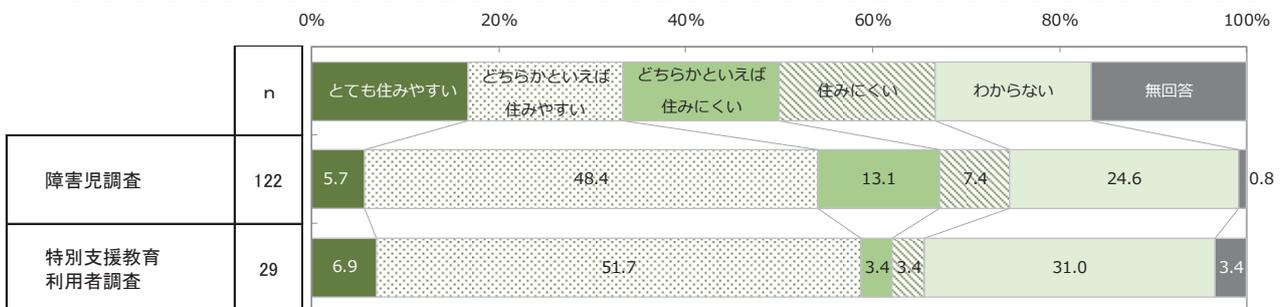
調査数	避難所の場所がわからない	入手法や避難の情報がわからない	災害や避難の情報がわからない	避難時に介助してくれない	助けを呼ぶための手段がない	避難所が受けられない医療的ケア	障害の特性上、避難所にいることが困難	避難所での他人とのコミュニケーション	その他	特になし	無回答
障害者調査	884	24.9	19.9	16.9	12.9	22.5	22.9	24.3	6.6	21.0	11.1 (%)
障害児調査	122	9.0	18.0	21.3	8.2	16.4	51.6	50.8	7.4	13.9	0.8
特別支援教育利用者調査	29	3.4	3.4	17.2	3.4	10.3	17.2	37.9	3.4	27.6	6.9

⑥ 西東京市の住みやすさ

問 お子さんにとって西東京市は住みやすいまちだと思いますか。（○は1つだけ）

障害児調査では、「とても住みやすい」は5.7%、「どちらかといえば住みやすい」は48.4%となっている。一方で、「どちらかといえば住みにくい」は13.1%、「住みにくい」は7.4%となっている。

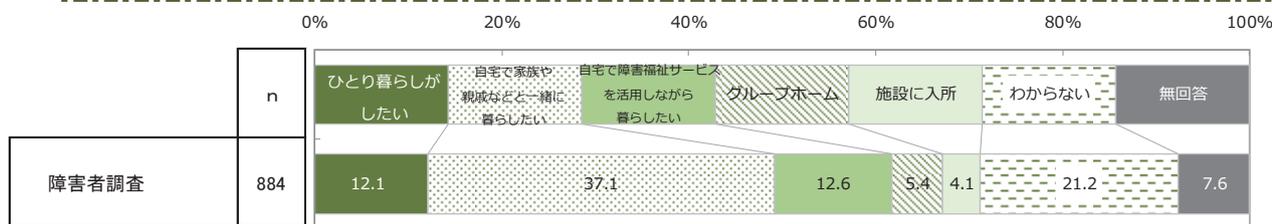
特別支援教育利用者調査では、「とても住みやすい」は6.9%、「どちらかといえば住みやすい」は51.7%となっている。一方で、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」は3.4%となっている。



⑦ 5年後どのように暮らしたいか

問 今から5年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。(○は1つだけ)

障害者調査では、「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」が37.1%と最も高く、次いで「自宅で訪問や通所型の障害福祉サービスを活用しながら暮らしたい」が12.6%、「ひとり暮らしがしたい」が12.1%となっている。一方で、「わからない」が21.2%となっている。



⑧ 障害について

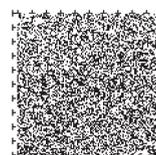
問 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

障害者調査では、「身体障害者手帳を持っている」が61.1%と最も高く、次いで「自立支援医療費制度を受けている」が21.7%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が21.4%となっている。一方で、「訪問看護などの医療的ケアを受けている」は12.7%となっている。

障害児調査では、「愛の手帳を持っている」が71.3%と最も高く、次いで「発達障害と診断されたことがある」が47.5%、「身体障害者手帳を持っている」が29.5%となっている。一方で、「訪問看護などの医療的ケアを受けている」は7.4%となっている。

特別支援教育利用者調査では、「発達障害と診断されたことがある」が58.6%と最も高く、次いで「愛の手帳を持っている」「どれにもあてはまらない」が24.1%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が6.9%となっている。

調査数	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳(療育手帳)を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	通院医療(療費制度)を受けている(精神)	自立支援医療費制度(精神)を受けている	難病医療費等対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	どれにもあてはまらない	無回答
障害者調査	884	61.1	13.3	21.4	21.7	15.2	2.5	6.6	12.7	1.4	1.0 (%)
障害児調査	122	29.5	71.3	12.3	4.1	4.9	1.6	47.5	7.4	0.0	0.8
特別支援教育利用者調査	29	0.0	24.1	6.9	3.4	0.0	0.0	58.6	0.0	24.1	3.4



⑨ 自宅での医療的ケア

問 現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。(〇はいくつでも)

障害者調査では、「リハビリテーション」が33.0%と最も高く、次いで「経管栄養」が6.3%、「褥瘡処置」が5.4%となっている。

障害児調査では、「吸引器使用」が55.6%と最も高く、次いで「リハビリテーション」「経管栄養」「気管切開」「人工呼吸器装着」が44.4%となっている。

調査数	注射・点滴	自己注射	リハビリテーション	経管栄養	気管切開 (それに伴う処置)	褥瘡処置	吸引器使用	ネブライザー使用	膀胱カテーテル	自己導尿	人工透析	酸素吸入器	人工呼吸器装着	その他	特にな い	無回 答	
障害者調査	112	3.6	3.6	33.0	6.3	2.7	5.4	4.5	1.8	2.7	0.0	2.7	2.7	4.5	33.9	27.7	4.5 (%)
障害児調査	9	0.0	0.0	44.4	44.4	44.4	22.2	55.6	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	44.4	44.4	0.0	0.0

⑩ 福祉サービス情報の入手先

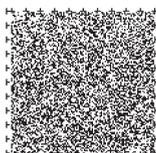
問 福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

障害者調査では、「市の広報誌」が54.1%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞のニュース」が22.4%、「障害者のしおり」が21.5%となっている。

障害児調査では、「市の広報紙」が46.7%と最も高く、次いで「障害者のしおり」が38.5%、「友人や知人」が32.0%となっている。

特別支援教育利用者調査では、「市の広報紙」が34.5%と最も高く、次いで「学校」が20.7%、「市のホームページやSNS」「友人や知人」が17.2%となっている。

調査数	(障害者のしおり 市が作成した冊子)	市の広報誌	SNS	市のホームページ	都の広報紙や 市のホームページ	その他の広報紙や インターネット、SNS	テレビ・ラジオ・新聞の ニュース	障害者団体	職場や学校	障害福祉サービス 事業所・施設	病院や診療所	図書館の障害のある方 向けサービス	民生委員・児童委員	自治会や町内会の回覧板	市内にある掲示板	家族や親戚	友人や知人	その他	特にな い	無回 答
障害者調査	884	21.5	54.1	14.3	11.8	6.4	22.4	3.6	1.8	17.1	14.6	0.9	1.4	1.7	1.5	15.5	11.3	4.1	10.3	4.8 (%)
障害児調査	122	38.5	46.7	27.0	9.0	11.5	2.5	9.8	31.1	29.5	18.0	0.8	0.0	0.0	0.0	2.5	32.0	3.3	3.3	2.5
特別支援教育利用者調査	29	13.8	34.5	17.2	3.4	13.8	3.4	3.4	20.7	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	17.2	3.4	20.7	3.4



⑪ 情報取得やコミュニケーションをとる際に困ること

問 普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。(〇はいくつでも)

障害者調査では、「周囲との意思疎通がとりづらい」が16.4%と最も高く、次いで「困っていることを周りに伝えられない」が16.3%、「緊急時や災害時の情報が入りにくい」が13.5%となっている。一方で、「特になし」が48.4%となっている。

	調査数	が点字、音声の出版物が少ない	内公的場での音声案内が不足している	き話や要約筆記がでない	手話や点字がわからない	公共施設の案内表示がわかりにくい	インターネットが利用しにくい	周囲との意思疎通がとりにくい	困っていることを周りに伝えられない	緊急時や災害時の情報が入りにくい	から便物の重要度がわからない	その他	特になし	無回答
障害者調査	884	1.1	3.4	1.2	5.3	7.5	16.4	16.3	13.5	7.1	4.6	48.4	11.1	

8. 調査の結果 ～施策の満足度、充実させるべき施策について～

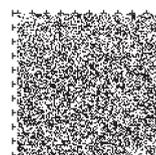
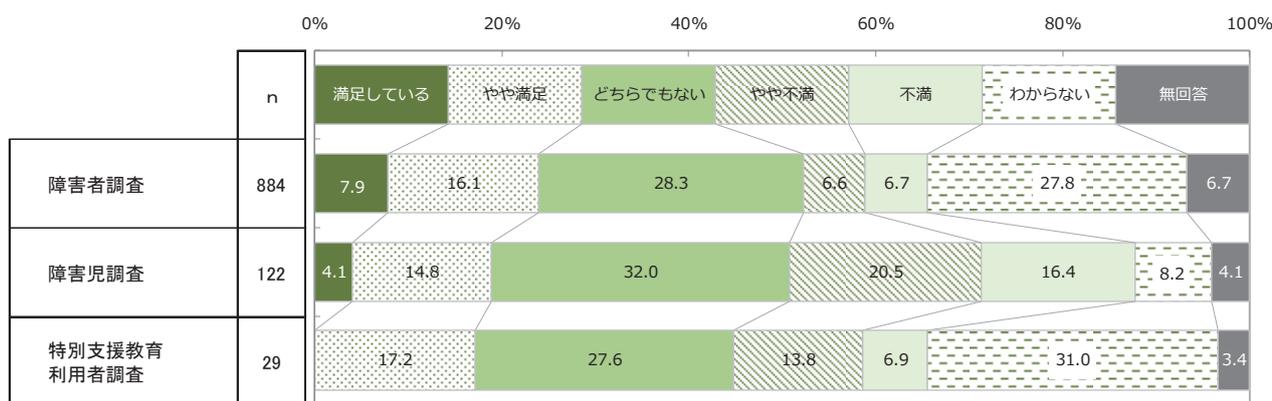
① 障害者施策に満足しているか

問 あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。(〇は1つだけ)

障害者調査では、「満足している」が7.9%、「やや満足」が16.1%となっている。一方で、「やや不満」が6.6%、「不満」が6.7%となっている。

障害児調査では、「満足している」が4.1%、「やや満足」が14.8%となっている。一方で、「やや不満」が20.5%、「不満」が16.4%となっている。

特別支援教育利用者調査では、「満足している」が0.0%、「やや満足」が17.2%となっている。一方で、「やや不満」が13.8%、「不満」が6.9%となっている。



② 障害者施策で充実させること

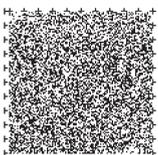
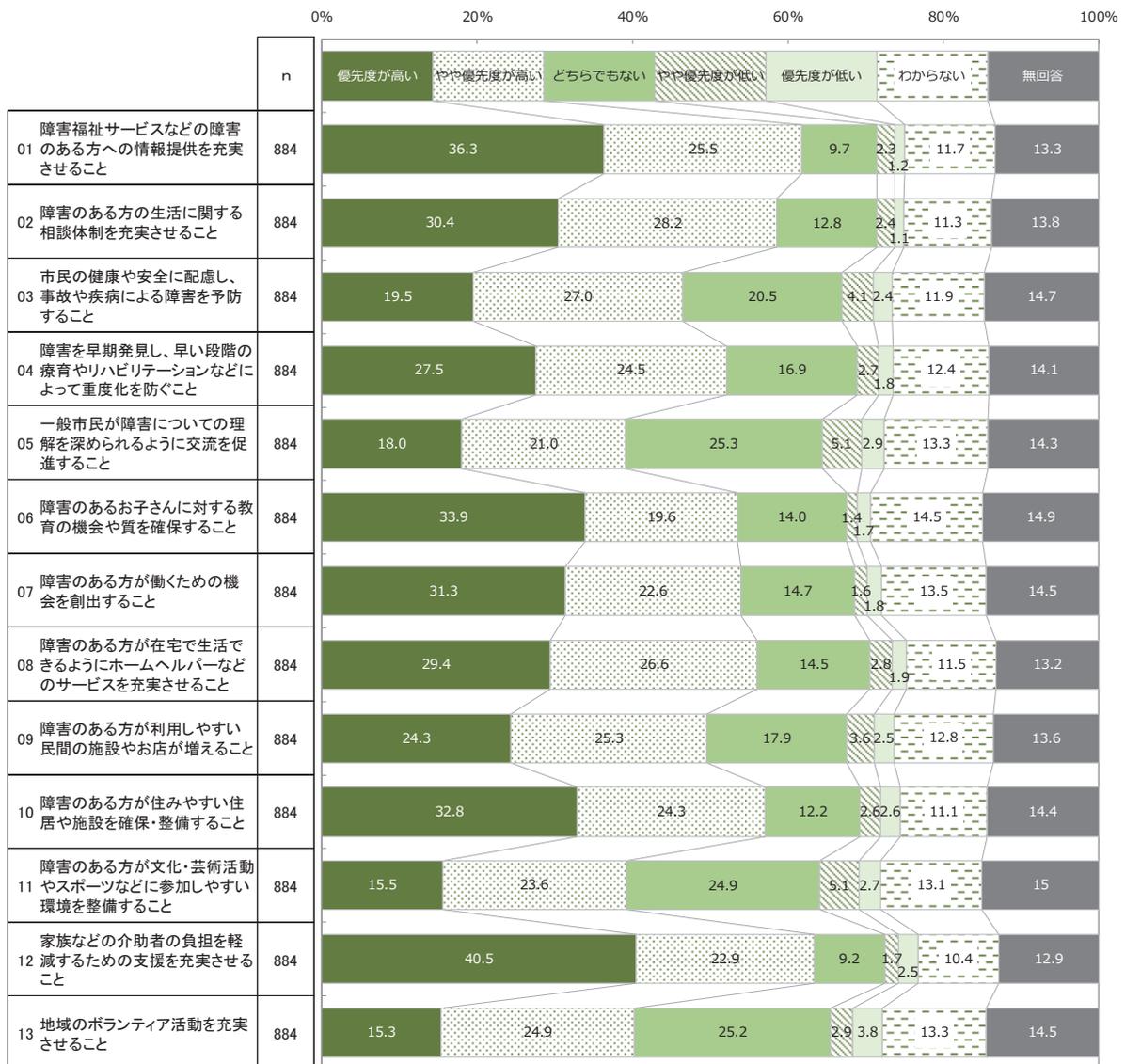
問 今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。（〇はそれぞれに1つずつ）

障害者調査では、「優先度が高い」は、「家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること」が40.5%と最も高く、次いで「障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること」が36.3%、「障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること」が33.9%となっている。

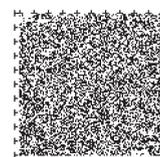
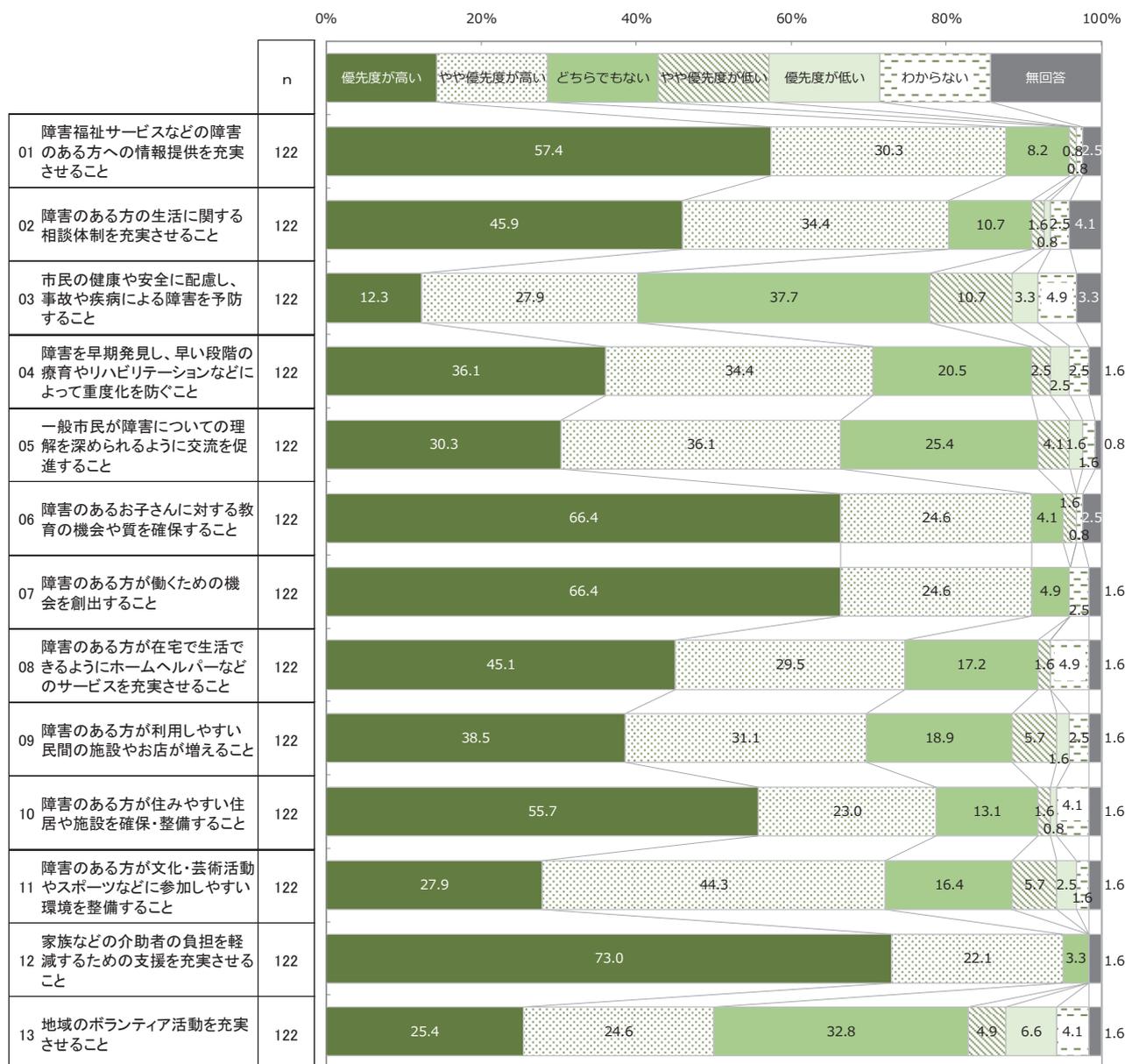
障害児調査では、「優先度が高い」は、「家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること」が73.0%と最も高く、次いで「障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること」「障害のある方が働くための機会を創出すること」が66.4%となっている。

特別支援教育利用者調査では、「優先度が高い」は、「障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること」「障害のある方が働くための機会を創出すること」が62.1%と最も高く、次いで「家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること」が55.2%となっている。

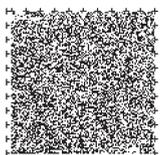
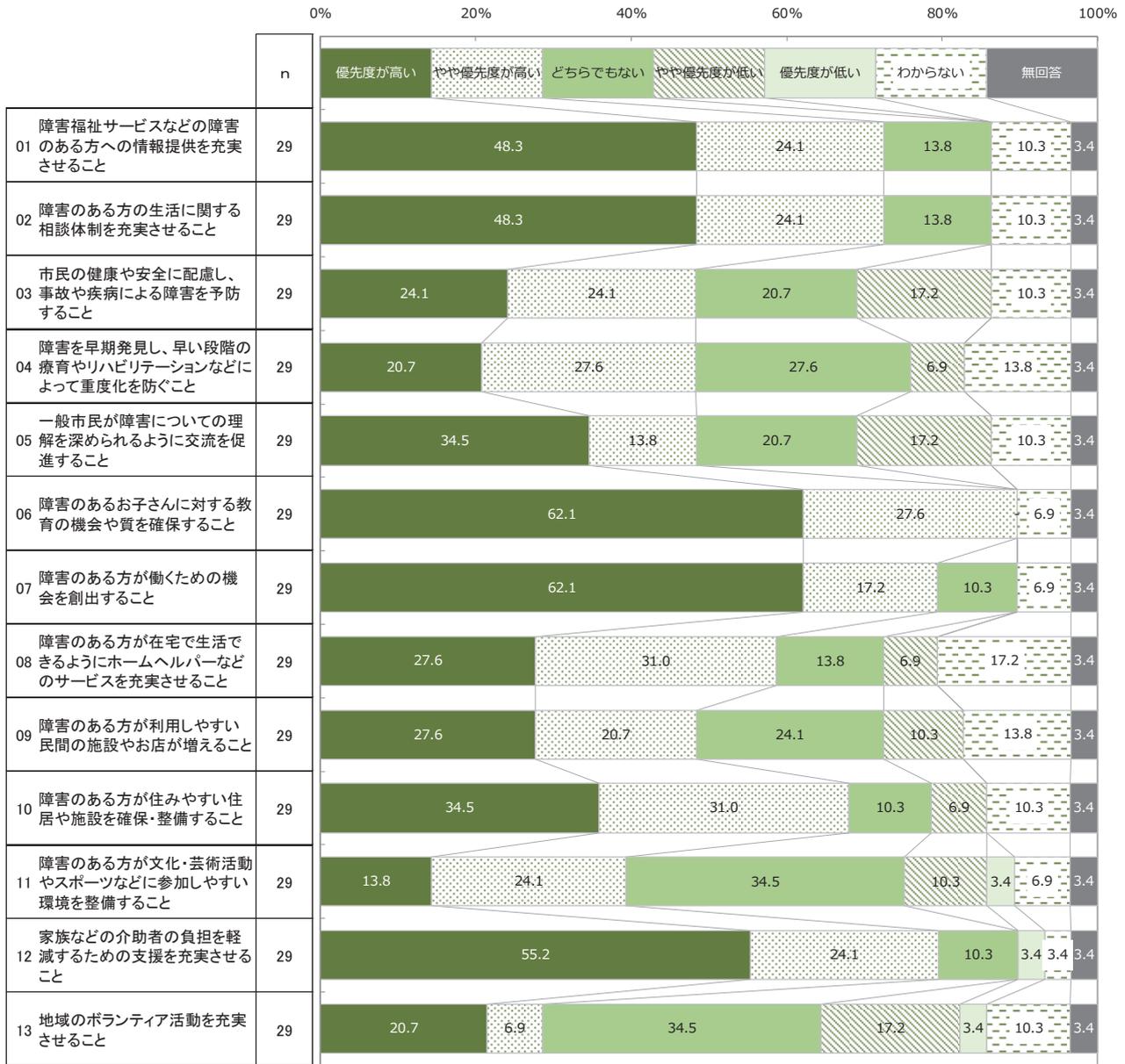
【障害者調査の結果】



【障害児調査の結果】



【特別支援教育利用者調査の結果】



**西東京市の障害者福祉に関する調査報告書【概要版】**

令和 5 年 3 月

西東京市 健康福祉部 障害福祉課

〒188-8666 東京都西東京市南町五丁目 6 番 13 号（田無庁舎 1 階）

電話 042-464-1311（代表） FAX 042-466-9666

